

屋内貯蔵所構造設備明細書

事業の概要									
建築物の構造	階数			建築面積		延べ面積		m ²	
	壁	延焼のおそれのある外壁			柱		床		
		その他の壁			はり		屋根又は上階の床		
	窓	出入口		階段		軒高階高		m	
建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造		階数	建築面積		延べ面積		m ²		
架台の構造		建築物の構造概要							
採光、照明設備									
換気、排出の設備									
電気設備									
避雷設備									
通風、冷房装置等の設備									
消火設備									
警報設備									
工事請負者住所氏名		電話							

コメント [予防(危) 1]:
事業の内容を具体的に記入

コメント [予防(危) 2]:
次により記入
・建築物1棟が屋内貯蔵所 各項目に建物構造を記入
延焼のおそれのある外壁 延焼ライン内の壁は耐火構造とする
例:
柱 鉄筋コンクリート
床 コンクリート
その他の壁 不燃
はり 鉄骨
屋根又は上階の床 コンクリート
窓 網入りガラス
出入口 防火設備の種類
階段 専用階段は耐火
軒高階高 m

コメント [予防(危) 3]:
・建築物の一部に設置 各項目とも屋内貯蔵所の部分の構造を記入
階数 設置する階を記入 例: 2階建ての1階部分
建築面積、延べ面積 設置する部分が単独で地盤面上にあると捉え面積を記入(屋根又は上階(他用途部分)がある場合は上階の床の構造)
建築物の構造概要 建築物の一部に設置する場合のみ各項目とも建物全体についての建物構造を記入

コメント [予防(危) 4]:
架台の材質、設置台数を記入
自動式ラックの場合は()でくくり併記

コメント [予防(危) 5]:
設置する採光及び照明の種類等を記入
例: 防爆型蛍光灯 台

コメント [予防(危) 6]:
換気又は排出の種類、材質、個数等を記入

コメント [予防(危) 7]:
照明設備を除く電気設備の概要を記入
例: 金属配管工事

コメント [予防(危) 8]:
避雷設備の種類を記入
例: 突針型 本

コメント [予防(危) 9]:
9. エアコン等恒温する装置を記入

コメント [予防(危) 10]:
設置する消火設備の種類・本数等を記入
例: 第3種消火設備(二酸化炭素)1式
: 第5種粉末ABC10型1本

コメント [予防(危) 11]:
設置する警報設備の種類・数等を記入
例: 自動火災報知設備、加入電話

コメント [予防(危) 12]:
工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2 建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。